

1. 基本情報

渡航先国名・地域名 (☆)	カナダ
滞在都市 (☆)	バンクーバー
留学先大学等名 (☆)	University of British Columbia
留学先での所属学部/研究科 (☆)	サウダービジネススクール
留学先で主に使用した言語	英語
渡航先への入国日 (☆)	2019年 9 月 6 日
渡航先からの出国日 (☆)	2020年 3 月 21 日
渡航先国での滞在期間 (☆)	七ヶ月
同伴者の有無・続柄・年齢等	無
その他	

2. 留学先の大学に関する情報

2. 1 授業に関する情報

履修科目名称 履修期間 授業時間 (○分×△回) 授業形態 (講義・セミナー) 取得単位数	Entrepreneurship (COMM280) term 1 週にニコマで、毎回 80 分。 講義 単位数：3
履修科目名称 履修期間 授業時間 (○分×△回) 授業形態 (講義・セミナー) 取得単位数	Managerial Accounting (COMM294) term 1 週にニコマで、毎回 80 分。 講義 単位数：3
履修科目名称 履修期間 授業時間 (○分×△回) 授業形態 (講義・セミナー) 取得単位数	Application of Statistics in Business (COMM291) term 1 週にニコマで、毎回 80 分。 講義 単位数：3
履修科目名称 履修期間 授業時間 (○分×△回) 授業形態 (講義・セミナー) 取得単位数	Introduction to Finance (COMM298) term 2 週にニコマで、毎回 80 分。 講義 単位数：3
履修科目名称 履修期間 授業時間 (○分×△回) 授業形態 (講義・セミナー) 取得単位数	Intermediate Financial Accounting I (COMM353) term 2 週にニコマで、毎回 80 分。 講義 単位数：3
履修科目名称 履修期間 授業時間 (○分×△回) 授業形態 (講義・セミナー) 取得単位数	Cost Accounting (COMM354) term 2 週にニコマで、毎回 80 分。 講義 単位数：3
留学生 (日本人) の割合	日本人留学生はとても多かったです。しかし、その多くは語学留学なので、授業ではあまり一緒ではありませんでした。
成績評価の方法 (試験・課題)	ビジネススクールの授業だと課題の量が試験よりも多かった

の数や分量等)	です。ただ、会計学だと課題も試験も多かったです。単位はきちんと課題や試験を諦めなければ取れます。
履修科目の制限等 (あれば)	Prerequisite があるかどうかを事前に確認した方がいいです。基礎知識がないままで上級の授業を受けると非常に大変です。
(英語圏以外の場合) 英語の使用頻度、英語での授業科目の充実度等について	
語学に関するサポート(特別授業、チューター、エッセイライティングに関するサポート等)	Tandemというランゲージエクスチェンジのプログラムに申し込むことを推奨します。また、総合図書館にはエッセイライティング、そしてビジネススクールの図書館にはプレゼンのコーチングタイムがあります。
授業内での留学生に対するサポート等	特にありませんでしたが、先生の office hour を使うことを推奨します。
その他	UBC で留学生に対するサポートは非常に充実しています。ただ、効率がやや悪いと感じたので、返信がこない時には催促のメールを送った方がいいと思います。

2. 2 福利厚生に関する情報

大学内での福利厚生施設(生協・購買・食堂)について	とても充実しています。
図書館について	数えきれないほどありました。
保健センター等の有無	詳しくありません。
クラブ・サークル等について	とても多かったです。
留学生へのサポート	交換留学生だと Go Global というオフィスが留学生のサポートをしています。
オリエンテーション等学校主催の行事について	詳しくありません。
現地の学生との交流について	部活や学校のイベントに参加すれば交流できると思います。
他の留学生との交流について	ESC という交換留学生の交流クラブに参加すればたくさんの交流ができると思います。
学外での活動について(地域コミュニティー活動等)	詳しくありません。
長期休暇中の過ごし方	スキー、山登り、旅行、ビーチやキャンパスで散歩など。
その他	

3. ビザ・入国・渡航直後の手続きに関する情報

ビザの種類(☆)	Student Permit
ビザの取得手続きについて(申請方法、申請から取得までの所要期間等)(☆)	https://55a.info/contents/country/canada/visa/student-visa.html (ここに参照してください。) また、日本国籍ではない方は早めに動き出した方がいいと思います。私の場合は二ヶ月以上かかりました。(カナダ移民局のウェブサイトに表示されるのよりも一ヶ月以上かかりました。)
利用航空会社	エバー航空(台湾からバンクーバーまで)
入国の際の現地空港名	YVR
空港から滞在先への移動について(交通手段や所要時間)	Skytrain、1時間ぐらい
入国審査について(提示した書類、審査官からの質問等)	覚えていませんが、ビザの申請の時に必要だった書類を全部持って行ったら無難でしょう。
渡航後の手続き(在留届の提	特に何もしませんでした。

出、外国人登録等)	
その他	

4. 金銭に関する情報

奨学金の受給	有
奨学金名	大阪大学経済学部の奨学金
奨学金月額受給額 (円)	航空券の補助金 15 万円+奨学金一日 1000 円ほど (上限は 20 万円)
入国時に用意した金額	5000 カナダドル
クレジットカードについて (カード会社名・日常の利便性)	台湾のカードを必要な時だけ使っていました。
留学中に利用した銀行名	RBC
現地での銀行口座開設について (開設の有無・手続き等)	有 (銀行に行ったら教えてください。)
デビットカードの使用について	有 (RBC)
日本からの送金方法について	母国から換金してお金を持っていきました。
1ヶ月の生活費 (目安)	(旅行代などの娯楽代を全部含めて) 20 万円
その他	

5. 暮らしに関する情報

5. 1 住居に関する情報

住居の種類 (学生寮 (一人部屋・二人部屋)・アパート等)	寮の中の一人部屋で、シェアハウスのような感じでした。
家賃	一ヶ月八万円ぐらい
住居を探した方法・時期	時期は覚えていません。
荷物の運搬方法 (ハンドキャリー、国際宅配便 (会社名、プランも) 等)	自分のスーツケースで
その他	

5. 2 食生活についての情報

普段の食事 (自炊・食事つき学生寮等)	自炊と外食半分半分でした。自炊すると多大な食料費が抑えられます。
1ヶ月の食費	5 万円ぐらい
その他	

5. 3 その他日常生活に関する情報

電話について	携帯電話番号 (SIM カード) は買ってませんでした。
インターネットについて (Wi-Fi 環境等)	学校の中には、WIFI 環境非常に良かったので、学校の wifi で生きていました。
コンピューターについて	自分のパソコン。パソコンを持っていなくても学校のデスクトップが使えます。
郵便について	使ったことはないです。
交通機関について	Skytrain、バス
治安について	キャンパスの近くは良いです。街に行くとやや危ないような感じがしました。
保険について	医療保険
医療機関・薬について	市販薬。学校の中には病院があります。
気候と服装について	九月は涼しくて気持ちよかったです。その後は長い雨季なので、傘は持って行った方がいいです。
普段の買い物について	キャンパス内
娯楽・行事について	
日本語の使用について	私は日本語 3 割、英語 7 割の感じでした。

日本から持参して特に役立ったもの/持参したら良かったもの	自分の電気スタンド。
留学前にしておいて良かったこと/しておけば良かったこと	英語の練習（特にスピーキング）
その他	

6. 就職活動に関する情報

留学前の就職活動について（セミナー参加、自己分析、業界研究、就活サイト登録等）	ボスカリに行ってみました。（二年生だったので、そこで情報収集しませんでした。）
留学中の就職活動について（海外からの情報収集、企業へのコンタクト、インターシップ等）	

7. 語学の学習方法について

留学前に準備したこと、語学能力試験対策等	ESS に入っていました。そこで英語でディベートしていました。
留学中の学習方法、工夫したこと等	分からなかったらすぐに聞くこと。辞書をこまめに引くこと。
留学後にどれぐらい語学力が伸びたか（主観的な実感や具体的なスコア等）	スピーキングとリスニングは上手くなった気がします。元々は英語を話す時、真面目になってしまうのですが、今は英語で自然にジョークを言えるようになりました。（面白くないかもしれませんが。）

8. その他

留学して得られたこと	視野が広がりました。友たちもたくさんできました。自信をさらに持つようになりました。
留学中に困ったこと	ホームシックになったりしていました。（アジアの良さを肌で感じました。）その時はアジア料理を食べに行きました。ちなみに、バンクーバーのアジア料理は美味しいです。救いました。
留学前/留学中に参考になったウェブサイト等	

9. 留学体験談・エッセイ

留学を決めた理由

私は入学する前に交換留学をしようと決めました。高校の時に留学をした経験があり、その経験が非常に自分のためになったので、大学の時にもう一度交換留学をしたいと思っていたからです。

大学に入ってから、なおさら交換留学に行きたくなりました。その理由は大きく二つあります。

一つ目の理由は、留学に行きたいと考えている多くの人たちと恐らく一緒の動機だと思うのですが、英語力を磨きたいという理由からです。TOEFL で高い点数を取れていましたが留学に行く前、実際に話す際には、過度に緊張して言葉が詰まる人でした。なので、自分の英語力にあまり自信がありませんでした。そのため、実際に英語圏に留学して「実用的な」英語力を身に

つけたかったからです。（実際に留学した後、私が一番得られたものは英語力ではなく、英語を話す時に言い間違えることを恐れない勇気だと気づきましたが。）

二つ目の理由は、非常に単純に聞こえるかもしれませんが、慣れた世界から慣れない世界へ踏み出したいと思っていたからです。高校生の時に日本に交換留学したことがあるので、大阪大学に入ったとき、すぐに周りの生活に慣れることができました。その反面、挑戦好きな私にとっては、なんとなく窮屈で物足りないような感じていました。（所謂、ドMかもしれません笑）それで、交換留学することを決めました。

楽しかったこと

楽しかったことは、いい天気の中、友たちとビーチ・公園で一緒に話すことです。毎年、UBCには世界からたくさんの留学生が来ているので、考え方や生活経験も非常に多様的で、とても新鮮でした。それに、バンクーバーは多民族都市なゆえ、UBCにも非常にインターナショナルな雰囲気がありました。ほとんどの人はOpen-mindedで、異文化理解に深く関心を持っていました。なので、彼らと話す時には安心感を覚えました。また、その考え方の違いに気づくことやそれぞれ異なった生活経験を聞くことによって、様々な価値観に触れることができました。

また、UBCのキャンパスは綺麗なだけでなく、近くのStanley Parkや数え切れないほどあるビーチもとても綺麗でした。天気の良い時には、よく友たちと散歩しながら雑談していました。カナダの雄大な自然の中を友と共に歩いたのは、とてもいい思い出です。

大変だったこと

大阪大学の授業と違って、UBCの学生は積極的に発言して授業にコミットメントしていないと、授業への参加度が評価されずに単位を落とす可能性があります。それで、ほとんどの学生が、予習・復習をしっかりとこなして授業に出るようにしていました。授業はとても白熱していて、双方のコミュニケーションがしっかりと取れており、正に充実した授業でした。私もそれを望んでいたのですが、ついていくことは予想よりも困難でした。

予習はもちろんのこと、授業中の音声を録音し授業後に自分が分かるまで何度も繰り返し聞くようにしていましたが、授業中の理解度がクラスメートと比べたらやはり低かったため、私の発言が明らかに他の学生の発言の質よりも低かったことに気づきました。それで、一時期自分の力不足で非常に落ち込んでしまい、もう発言することを諦めようと思い、友達に相談したこともありました。

しかし、その時に友だちに「シンはみんなと同じように発言の権力が与えられているんだし、シンが分からないことなら、みんなも知っているとは限らないから、正々堂々と発言することでこれからの発言の質を向上させればいいんじゃない？」と言われました。彼女にとっては当たり前のことだったのかもしれませんが、その一言が当時の私に大きな勇気を与えてくれたと言っても過言ではありません。

これから留学を考えている後輩へのメッセージ

留学を通して、視野が広がるだけでなく、自分自身をもっと理解することができます。その

変化に気づくことはとてもワクワクします。しかし、私は「全ての人が留学に行くべきだ」とは思いません。なぜなら、国内に残っても様々なことをすることで成長できますし、英語力を磨きたかったら、実際国内でも十分に成し遂げることができるからです。そして、金銭的な余裕を持っていないければ、留学は簡単にできるものではないと思います。

しかし、もし海外に行っておそらく刺激を受けたい、あるいは自分の慣れた世界から一歩踏み出してみたい方がいれば、ぜひチャレンジして欲しいと思います。お金で困っているのであれば、奨学金はたくさんありますので、積極的に奨学金に応募するのも一つの手だと思います。また、卒業が一年遅れるのが嫌な方もいると思います。そのような方は、ポスキャリのような留学生の就活イベントを活用することもできるので、この点に関しては、全く気にする必要はありません。逆に、留学を通して、様々なことを経験して成長したあなたの方が企業にとって求められる存在だと思います。

留学は大学生活の中でも、特に大きな決断の一つなので、たくさんの不安がある方も多いと思いますが、大阪大学のサポートはとても充実していますので、もし自分の目標を明確にした上で、それでも留学に興味を持っているのであれば、不安なことや、聞きたいことを国際交流室の方や先輩に相談に乗ってもらうこともできます。

留学は、言語・学問以外にもたくさんのことを学ぶことができます。大阪大学のモットーにもあるように、世界をより良いものにするために、「地域に生き世界に伸びる」ことができる人になるためには、どうすればいいのかを留学を通して学ぶことができると私は考えています。